

## 福井ふるさと学びの森 若狭エリア 第2回体験イベント 「焚火で秋の味覚体験」

- 1 日 時 令和2年11月15日(日) 9:00~12:00  
13:30~16:00
- 2 場 所 福井ふるさと学びの森(若狭町気山)
- 3 参加者 小学生親子 36名(午前の部16名 午後の部20名)
- 4 講 師 萩原 茂男さん(ふるさと研究員)
- 5 内 容

### (1) 間伐見学

爽やかな秋晴れの中、暮らしの広場で開会のあいさつがあった後、全員がヘルメットをかぶり、間伐見学ができるスギの人工林へ移動しました。間伐見学では、講師の萩原さんから、「日本は国土の多くが森林であり、森をしっかりと管理することが国土の保全につながる。」「大きな木を育てるためには間伐を行い、日光を入れることが必要。」といった説明がありました。

実際に間伐が始まり、狙った方向に木が倒れると拍手があがっていました。倒れた切り株を見て、子供たちは幹の年輪を数え「〇歳だ!」などと声を上げ、木の樹齢を言い合っていました。また、間伐前後で明るさを比較し光の入り具合の違いも体感していました。参加者は五感で深く自然を学びました。

※年輪・・・木の断面に生じる円状の模様。1年に1つつ増加するもの。

### 【参加者の声】

- ・チェーンソーの音、木がメキメキと音を立て倒れる所を実際に体験できた。
- ・普段見ることのない間伐が見られて良かった。



日本の森林についての説明



間伐についての説明



間伐後の切り株を触ってみる



間伐後の切り株



間伐すると光が入る!

## (2) 丸太切り体験

間伐見学の後は丸太切りです。3か所に分かれて家族ごとに行いました。子供たちは、初め苦戦していましたが、親や友人と協力し、周りからの応援に力をもらいながら切断していきました。切れると、周りの参加者から声上がり拍手が起きていました。コツをつかんだ参加者は何度も丸太切りにチャレンジし、たくさんの丸太を持って帰りました。子供たちからも「丸太切り楽しい！」などの声もでていました。

### 【参加者の声】

- ・自分自身が切った丸太を持って帰れてよかった。



丸太切りのコツを習う



萩原さんの実演



丸太切り体験



友人と協力して



参加者が協力し合って



みんなに応援

## (3) 焚火で焼き芋体験

丸太切りを終えた参加者は、焼きイモ体験を行いました。萩原さんから「基本的に全て自分たちで作ってもらう」と指示がありました。参加者は、自分たちでサツマイモを洗い新聞紙に巻き付け水にひたし、アルミホイルで巻きました。これで下準備は完了です。続いて火をおこすために薪と新聞紙を焚火台に置き、マッチで火を付けました。なかなか火が広がらず最初は苦労していましたが、うちわで風を送ったり、薪を上手くくべたりすることで火が安定しました。サツマイモを20分～25分くらい焼き、串で加減を確認して完成です。アツアツの焼きイモを半分に割ると、とてもいい色にできていて参加者は自分たちが焼き上げた焼きイモを美味しくうまそうにほおばっていました。

【参加者の声】

- ・焚火で焼き芋をしたかったが、なかなか場所がないのでこういう機会があってよかった。
- ・火を付ける所からサツマイモが焼きあがるまでの工程を全て自分たちでできてよかった。
- ・出来そうでなかなかできない体験ができた。



萩原さんより注意事項の説明



焼きイモを作るための下準備



火を付けてみよう



無事に火が付いた！



焚火で温まる様子



焼きイモを味わう